

カーボンフットプリント製品種別基準（CFP-PCR）

（認定 CFP-PCR 番号：PA-DE-01）

対象製品：カーペット

2012 年 10 月 9 日 認定

2017 年 10 月 9 日 更新

カーボンフットプリントコミュニケーションプログラム

※認定 CFP-PCR の有効期限は 2020 年 3 月 31 日までとする。

※この CFP-PCR に記載されている内容は、カーボンフットプリントコミュニケーションプログラムにおいて、関係事業者等を交えた議論の結果として、CFP-PCR 改正の手続を経ることで適宜変更および修正することが可能である。

“カーペット”
Carbon Footprint of Products-Product Category Rule of
“CARPET”

本文書は、社団法人産業環境管理協会が運営管理する「カーボンフットプリントコミュニケーションプログラム」(CFP プログラム)において、「カーペット」を対象とした CFP の算定・宣言のルールについて定める。

CFP の算定・宣言を行おうとする事業者等は、本文書および「カーボンフットプリント算定・宣言に関する要求事項」に基づいて、CFP の算定・宣言を行う。

No.	項目	内容
1	適用範囲	<p>この CFP-PCR は、CFP プログラムにおいて、繊維製床敷物(カーペットただしマット類を除く)を対象とするCFP 算定およびCFP 宣言に関する規則、要求事項および指示事項である。</p> <p>※マット類・・・靴の泥よけ、水きり目的などで、60×90 cm や 90×120 cm などのサイズで店舗や住宅の玄関、バス、台所付近等に敷くもの。</p> <p>床材については、「PA-CL-01 床敷物」が既に認定されているが、当該 PCR ではプラスチックタイルのみが対象とされており、カーペットは対象とされていない。また、この CFP-PCR における「使用・維持管理段階」の施工・メンテナンスシナリオはカーペットの実態を反映して設定した。「PA-CL-01 床敷物」とはこれらシナリオおよび算定方法に相違がある。</p> <p>なお、対象製品の関係法令に抵触する内容については、法令順守を優先する</p>
2	対象とする製品種別の定義	
2-1	製品種別	<p>この CFP-PCR で対象とする「カーペット」とは</p> <p>JIS L 0212-1 : 2010 繊維製品用語(衣料を除く繊維製品)の第一部:繊維製床敷物で、パイルのある床敷物(1010)のうち織機でおられたもの(2000)、パイルのあるタフテッド繊維製床敷物(2100)、ニードリングによって形成されたパイルのあるもの(2500)、およびパイルのないもの(3010)に相当するものを対象とし、それぞれ次の製品種別名とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・織機でおられた床敷物 ……………織じゅうたん(JISL4404) ・パイルのあるタフテッド床敷物 ……………タフテッドカーペット(JISL4405) ・パイルのあるタフテッド床敷物で、モジュール方式で使用することを目的とした角型カーペット ……………タイルカーペット(JISL4406) ・ニードリングによって形成されたパイルのあるものおよびパイルのないもの ……………ニードルパンチカーペット (日本標準商品分類 82153)
2-2	機能	業務用または家庭用の室内装飾に使用されるカーペットの提供およびその使用
2-3	算定単位(機能単位)	施工されたカーペットの面積単位(m ²) (想定使用期間あたり)。
2-4	対象とする構成要素	<p>次の要素を含むものとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カーペット本体 ・容器包装 ・梱包材 ・輸送資材 ・接着剤等の工事用消耗資材 ・メンテナンス用消耗資材 <p>とする。</p>

3	引用規格および引用 PCR	<p>次の CFP-PCR を引用する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PA-BB 紙製容器包装(中間財) ・PA-BC プラスチック製容器包装 ・PA-BD 金属製容器包装(中間財) ・PA-BE ガラス製容器(中間財) <p>以上の容器包装関連 CFP-PCR4 件をまとめて、以後「容器包装 CFP-PCR」と記述する。</p>
4	用語および定義	<p>① 想定使用期間 製品のライフサイクルにおける GHG 排出量の算定にあたり、使用・維持管理段階の負荷を計上する期間</p> <p>② 容器包装 原材料調達段階で投入され、カーペット本体と共に「出荷品」として取り扱いされる資材で、廃棄・リサイクル段階で排出されるもの</p> <p>③ 梱包材 生産段階または流通段階で投入されるラッピング材、簡易梱包材などの資材で使用・維持管理段階で排出されるもの</p> <p>④ 糸加工 ナイロン等の繊維に混織や撚り、セットなどの加工を施すこと</p> <p>⑤ 染色助剤 pH 調整剤、沈殿防止剤、浸透剤等</p> <p>⑥ 機能加工剤 防汚剤、抗菌剤、消臭剤等</p> <p>⑦ 充填剤 合成樹脂に強度や難燃性等を付与する為、添加する材料 一般的に、炭酸カルシウムの粉体を使用される。</p> <p>⑧ シヤーリング カットパイルカーペットのパイル先端をカットし、毛並みを揃えること</p> <p>⑨ タフト 一般的にはカーペット等のパイル部を指す言葉であるが、ここではタフトニング機により基布にパイルを刺し込み、ループ状あるいはカット状のパイルを形成することをいう</p> <p>【タイルカーペットに係る用語の規定】</p> <p>① 不織布 ここでは、ポリエステル繊維を接着剤や熱によって圧着・溶着させ、織らずにシート状にしたものをいう 現在、主としてタイルカーペットの一次基布として使用されている。</p> <p>② 織基布 通常、ポロプロピレンのテープ糸を織物状にしたもの</p> <p>③ 一次基布 タフトニングマシンでパイル糸を植え付ける基材となるもの</p> <p>④ ペースト 塩ビを充填材と共に可塑剤等に分散させて、ゾル状にしたものをいう</p> <p>⑤ バッキング カーペットの裏にラテックスやペーストを塗布し、固めることによりパイル糸の目止めをする工程</p> <p>⑥ プレコート ペースト材料だけでは得られない効果やその効果を補充する為に、事前に裏から別の接着剤で処理をしておくこと若しくはその材料を言う</p> <p>⑦ 可塑剤 熱可塑性合成樹脂に加えて柔軟性や耐候性を改良する為に添加する添加剤の総称</p>

		<p>⑧ 接着剤塗布加工 通常タイルカーペットはピールアップ接着剤(剥離力を弱くし、簡単に剥がれるようにした接着剤)で施工されるが、これを予めタイルカーペット裏面に塗布しておいて、現場で直ぐ施工出来るようにした加工</p> <p>⑨ リサイクル材料(粉体) 施工端材、使用済みタイルカーペット、工程廃材等を破碎・粉碎加工したもの</p> <p>⑩ リサイクル材料(シート) リサイクル材料(粉体)をシート状に加工したもの</p> <p>【タフテッドカーペットに係る用語の定義】</p> <p>① 一次基布 タフティングマシンでパイル糸を植え付ける基材となるもの</p> <p>② バッキング カーペットの裏面にラテックスなどを塗布し、固めることでパイル糸の目止をする工程</p> <p>③ EVA Ethylene Vinyl acetate; 酢酸ビニルエチレンコポリマー</p> <p>④ 二次基布 カーペット裏面に張られる布または布状のもの</p> <p>⑤ テープ・オーバーロック ピース敷きをするカーペットにおいて、カーペットの裁断箇所のほつれ防止や外観を整えるための縁かがりのこと 糸を用いてマシン掛けするオーバーロック、テープを用いたテープロックなどがある。</p> <p>⑥ コンパウンド 混合物 ラテックスの中に充填剤やその他添加剤を混合したもの。</p> <p>⑦ スチーム加工 カーペット表面に蒸気を当て、加湿によりパイル糸に柔軟性を付与する、あるいは糸の捲縮を発現させるなどの風合い改善を行う加工</p> <p>⑧ バックプリント 二次基布の裏面に滑り止めなどを目的とした樹脂やラテックスを塗布する加工</p> <p>⑨ 耳スリット(裁断) タフテッドカーペットのパイルの植えつけられていない端部(耳)を切り落とす加工</p> <p>⑩ ポリッシャー カーペットのパイルを熱シリンダーなどを用いて摩擦、引き伸ばすことで、毛並みを整え、艶を出す加工</p> <p>⑪ ヘム加工 ピース敷きのカーペットにおいて、カーペットの裁断箇所のほつれ防止や外観を整え、装飾性を高めるため、布地を裏面から裁断面にかけて覆うようにカバーして縫い付ける加工</p> <p>⑫ グリッパ アンダーフェルト敷きのカーペット施工方法に用いる材料。施工後に弛んだりずれたりしないように、釘や合板を用いて部屋内端にカーペットを固定する部材</p> <p>【織じゅうたんに係る用語の規定】</p> <p>① 紡績 JIS 用語「短い繊維からなる糸を作ること」。比較的短い繊維を集め、これを並行に配列、引き伸ばして細くし、地撚りを与えて均一な糸を生産すること</p> <p>② 紡績糸 紡績工程により製造された糸の総称</p> <p>③ 混紡糸</p>
--	--	---

	<p>異種の繊維を混合して紡績した糸</p> <p>④ 長繊維糸 フィラメントからなる糸</p> <p>⑤ 地組織加工糸 基布を形成する地組織の糸</p> <p>⑥ ラテックス 天然ゴムまたは合成ゴム等の乳濁した状態のものでバックング材として炭酸カルシウム等の充填剤を配合したもの</p> <p>⑦ CMC Carboxy Methyl Cellulose</p> <p>⑧ ロック糸 オーバーロックに用いる糸</p> <p>⑨ 整経 製織に用いるパイル糸またはたて糸を必要な本数、長さ、幅を設定し、張力を与えながら巻き取る工程</p> <p>⑩ スチーム加工 カーペット表面に蒸気を当て、加湿によりパイル糸に柔軟性を付与する、あるいは糸の捲縮を発現させるなどの風合い改善を行う加工</p> <p>⑪ パイル カーペットの表面に出ている繊維の束</p> <p>⑫ ワインダー 糸などをその加工目的や用途に応じ所定の形状や硬さに巻く工程</p> <p>⑬ 製織 たて糸とよこ糸を用いて織機によりパイルを形成する織物の製造工程</p> <p>⑭ 糊付け加工 織物の仕上げ工程の一つ 織物の外観および触感の改良のために行う。また、カーペットの形保持性と硬さを与えるために行う。</p> <p>⑮ 不織布 通常ポリエステル短繊維を接着剤と熱でもって圧着・溶着させ、織らずにシート状にしたもの</p> <p>⑯ 織基布 たて糸とよこ糸を交錯させた織物の基布</p> <p>⑰ バックング 裏面に不織布等を貼付する工程</p> <p>⑱ ヘム加工、グリッパー タフテッドカーペットと同様</p> <p>【ニードルパンチカーペットに係る用語の定義】</p> <p>① 一次基布 ニードルパンチマシンにて短繊維を絡みつける基材となるもの</p> <p>② バックング加工 カーペット裏面にラテックス等を塗布し、固める事で短繊維を固着させること</p> <p>③ 二次基布 カーペット裏面に張られる布または布状のもの</p> <p>④ ニードルパンチ 短繊維をバーブ形状のついた針により繊維を絡めてフェルト状にしたもの</p> <p>⑤ 起毛加工 フェルト化されたものをフォークニードルにてつき出してパイルを形成させる</p> <p>⑥ コンパウンド処理</p>
--	---

		ラテックス(樹脂)に、充填剤などの添加物を混ぜ合わせる事 ⑦ ラミネート 熱可塑性樹脂を熱で溶融させてフィルム状のシートを形成させて、カーペット裏面に貼り合わせる加工
5	製品システム(データの収集範囲)	
5-1	製品システム(データの収集範囲)	次のライフサイクル段階を対象とする。 ・原材料調達段階 ・生産段階 ・流通段階 ・使用・維持管理段階 ・廃棄・リサイクル段階 ただし、原材料調達段階と生産段階でデータを個別に収集することが困難なプロセスは、いずれかの段階にまとめて計上してもよい。
5-2	カットオフ基準およびカットオフ対象	【カットオフ対象とする段階、プロセスおよびフロー】 ・製品を生産する設備などの資本財の使用時以外の負荷 ・生産工場などの建設に係る負荷 ・複数年使用する資材の負荷 ・投入物を外部から調達する際に使用される容器包装や輸送資材の負荷 ・副資材のうち、マスク、軍手等の汎用的なものの負荷 ・事務部門や研究部門などの間接部門に係る負荷 ・販売プロセスおよび保管プロセスに係る負荷 ・土地利用変化に係る負荷 【カットオフ基準の特例】 特に規定しない。
5-3	ライフサイクルフロー図	附属書 A(規定)に対象製品ごとの一般的なライフサイクルフロー図を示す。 A-1「タイルカーペット ライフサイクルフロー図」 A-2「タフテッドカーペット ライフサイクルフロー図」 A-3「織じゅうたん ライフサイクルフロー図」 A-4「ニードルパンチカーペット ライフサイクルフロー図」 CFP の算定時には、このライフサイクルフロー図から外れない範囲で算定製品ごとに詳細化したライフサイクルフロー図を作成しなければならない。
6	全段階に共通して適用する CFP 算定方法	
6-1	一次データの収集範囲	一次データの収集範囲の詳細は(7-2)、(8-2)、(9-2)、(10-2)および(11-2)に記載する。 なお、一次データの収集範囲外のデータ収集項目についても、必要に応じて一次データを収集してよい。
6-2	一次データの品質	特に規定しない。
6-3	一次データの収集方法	特に規定しない。
6-4	二次データの品質	特に規定しない。
6-5	二次データの収集方法	特に規定しない。
6-6	配分	【配分基準に関する規定】 特に規定しない。 【配分の回避に関する規定】 特に規定しない。

		【配分の対象に関する規定】 特に規定しない。																					
6-7	シナリオ	<p>【輸送に関するデータ収集】 輸送量(または燃料使用量)に関して一次データの収集が困難な場合、および各段階でシナリオを設定していない場合は、(附属書 B(規定))のシナリオを使用しなければならない。</p> <p>【廃棄物等の取扱い】 処理方法について一次データの収集が困難な場合、および各段階でシナリオを設定していない場合、紙類やプラスチックのように焼却できるものはすべて焼却処理とし、金属のように焼却できないものはすべて埋立処理として算定する。なお、容器包装 CFP-PCR の対象となるものについては、容器包装 CFP-PCR の廃棄物等の処理のシナリオを適用してもよい。</p>																					
6-8	その他	【原材料調達段階の投入量の算定に関する規定】 投入物の投入量については、生産段階・施工段階でのロス率を考慮すること。																					
7	原材料調達段階に適用する項目																						
7-1	データ収集範囲に含まれるプロセス	<p>①「原材料」の製造および輸送に係るプロセス (再生処理されたリサイクル材料を使用する場合は再生処理のプロセスを含む)</p> <p>②「容器包装」の製造および輸送に係るプロセス</p>																					
7-2	データ収集項目	<p>次表に示すデータ項目を収集する。</p> <p>①「原材料」の製造および輸送に係るプロセス</p> <table border="1" data-bbox="568 965 1444 1375"> <thead> <tr> <th>活動量の項目名</th> <th>活動量の区分</th> <th>活動量に乗じる原単位の項目名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>「原材料」 製品生産サイトへの投入量</td> <td>一次</td> <td>「原材料」 製造原単位</td> </tr> <tr> <td>「リサイクル材料」 製品生産サイトへの投入量</td> <td></td> <td>「リサイクル材料」 再生処理原単位</td> </tr> <tr> <td>「原材料」「リサイクル材料」 製品生産サイトへの輸送量(または燃料使用量)</td> <td>※1</td> <td>「各輸送手段」 輸送原単位</td> </tr> </tbody> </table> <p>②「容器包装」の製造および輸送に係るプロセス</p> <table border="1" data-bbox="568 1453 1444 1729"> <thead> <tr> <th>活動量の項目名</th> <th>活動量の区分</th> <th>活動量に乗じる原単位の項目名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>「容器包装」 製品生産サイトへの投入量</td> <td>一次</td> <td>「容器包装」 製造原単位</td> </tr> <tr> <td>「容器包装」 製品生産サイトへの輸送量(または燃料使用量)</td> <td>※1</td> <td>「各輸送手段」 輸送原単位</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 次の項目を一次データとして収集する。 [燃料法の場合] 輸送手段ごとの「燃料使用量」 [燃費法の場合] 輸送手段ごとの「燃費」輸送手段ごとの「輸送距離」 [トンキロ法の場合] 輸送手段ごとの「輸送重量」</p>	活動量の項目名	活動量の区分	活動量に乗じる原単位の項目名	「原材料」 製品生産サイトへの投入量	一次	「原材料」 製造原単位	「リサイクル材料」 製品生産サイトへの投入量		「リサイクル材料」 再生処理原単位	「原材料」「リサイクル材料」 製品生産サイトへの輸送量(または燃料使用量)	※1	「各輸送手段」 輸送原単位	活動量の項目名	活動量の区分	活動量に乗じる原単位の項目名	「容器包装」 製品生産サイトへの投入量	一次	「容器包装」 製造原単位	「容器包装」 製品生産サイトへの輸送量(または燃料使用量)	※1	「各輸送手段」 輸送原単位
活動量の項目名	活動量の区分	活動量に乗じる原単位の項目名																					
「原材料」 製品生産サイトへの投入量	一次	「原材料」 製造原単位																					
「リサイクル材料」 製品生産サイトへの投入量		「リサイクル材料」 再生処理原単位																					
「原材料」「リサイクル材料」 製品生産サイトへの輸送量(または燃料使用量)	※1	「各輸送手段」 輸送原単位																					
活動量の項目名	活動量の区分	活動量に乗じる原単位の項目名																					
「容器包装」 製品生産サイトへの投入量	一次	「容器包装」 製造原単位																					
「容器包装」 製品生産サイトへの輸送量(または燃料使用量)	※1	「各輸送手段」 輸送原単位																					

7-3	一次データ収集方法および収集条件	特に規定しない。																																							
7-4	シナリオ	特に規定しない。																																							
7-5	その他	特に規定しない。																																							
8	生産段階に適用する項目																																								
8-1	データ収集範囲に含まれるプロセス	①本体の生産プロセス (生産サイト内でリサイクル材料の再生処理が行われる場合は再生処理プロセスを含む) ②サイト間輸送プロセス																																							
8-2	データ収集項目	<p>次表に示すデータ項目を収集する。</p> <p>①本体の生産プロセス</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>活動量の項目名</th> <th>活動量の区分</th> <th>活動量に乗じる原単位の項目名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>「水」 「燃料」 「電力」 製品生産プロセスへの投入量</td> <td>一次</td> <td>「水」 「燃料」 「電力」 製造と供給および使用原単位</td> </tr> <tr> <td>「副資材」 製品生産プロセスへの投入量</td> <td>一次</td> <td>「各副資材」 製造原単位</td> </tr> <tr> <td>「副資材」 製品生産サイトへの輸送量(または燃料使用量)</td> <td>※1</td> <td>「各輸送手段」 輸送原単位</td> </tr> <tr> <td colspan="3">「廃棄物等」 「廃水」 ※2</td> </tr> </tbody> </table> <p>②サイト間輸送プロセス</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>活動量の項目名</th> <th>活動量の区分</th> <th>活動量に乗じる原単位の項目名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>「梱包材」 サイト間輸送プロセスへの投入量</td> <td>一次</td> <td>「梱包材」 製造原単位</td> </tr> <tr> <td>「梱包材」 製品生産サイトへの輸送量(または燃料使用量)</td> <td>※1</td> <td>「各輸送手段」 輸送原単位</td> </tr> <tr> <td>「輸送物」 各サイト間の輸送量(または燃料使用量)</td> <td>※1</td> <td>「各輸送手段」 輸送原単位</td> </tr> <tr> <td colspan="3">「廃棄物等」 ※2</td> </tr> </tbody> </table> <p>※2 廃棄物等および廃水に関するデータ収集項目</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>活動量の項目名</th> <th>活動量の区分</th> <th>活動量に乗じる原単位の項目名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>「廃棄物等」 「廃水」 処理方法ごとの排出量</td> <td>一次 または シナリオ</td> <td>「各処理方法」 処理原単位</td> </tr> <tr> <td>「廃棄物等」</td> <td>※1</td> <td>「各輸送手段」</td> </tr> </tbody> </table>	活動量の項目名	活動量の区分	活動量に乗じる原単位の項目名	「水」 「燃料」 「電力」 製品生産プロセスへの投入量	一次	「水」 「燃料」 「電力」 製造と供給および使用原単位	「副資材」 製品生産プロセスへの投入量	一次	「各副資材」 製造原単位	「副資材」 製品生産サイトへの輸送量(または燃料使用量)	※1	「各輸送手段」 輸送原単位	「廃棄物等」 「廃水」 ※2			活動量の項目名	活動量の区分	活動量に乗じる原単位の項目名	「梱包材」 サイト間輸送プロセスへの投入量	一次	「梱包材」 製造原単位	「梱包材」 製品生産サイトへの輸送量(または燃料使用量)	※1	「各輸送手段」 輸送原単位	「輸送物」 各サイト間の輸送量(または燃料使用量)	※1	「各輸送手段」 輸送原単位	「廃棄物等」 ※2			活動量の項目名	活動量の区分	活動量に乗じる原単位の項目名	「廃棄物等」 「廃水」 処理方法ごとの排出量	一次 または シナリオ	「各処理方法」 処理原単位	「廃棄物等」	※1	「各輸送手段」
活動量の項目名	活動量の区分	活動量に乗じる原単位の項目名																																							
「水」 「燃料」 「電力」 製品生産プロセスへの投入量	一次	「水」 「燃料」 「電力」 製造と供給および使用原単位																																							
「副資材」 製品生産プロセスへの投入量	一次	「各副資材」 製造原単位																																							
「副資材」 製品生産サイトへの輸送量(または燃料使用量)	※1	「各輸送手段」 輸送原単位																																							
「廃棄物等」 「廃水」 ※2																																									
活動量の項目名	活動量の区分	活動量に乗じる原単位の項目名																																							
「梱包材」 サイト間輸送プロセスへの投入量	一次	「梱包材」 製造原単位																																							
「梱包材」 製品生産サイトへの輸送量(または燃料使用量)	※1	「各輸送手段」 輸送原単位																																							
「輸送物」 各サイト間の輸送量(または燃料使用量)	※1	「各輸送手段」 輸送原単位																																							
「廃棄物等」 ※2																																									
活動量の項目名	活動量の区分	活動量に乗じる原単位の項目名																																							
「廃棄物等」 「廃水」 処理方法ごとの排出量	一次 または シナリオ	「各処理方法」 処理原単位																																							
「廃棄物等」	※1	「各輸送手段」																																							

		各処理施設への輸送量(または燃料使用量)		輸送原単位																		
		「廃棄物等のうちの化石資源由来成分」 焼却処理の量	一次 または シナリオ	「各化石資源由来成分」 燃焼原単位																		
		「廃棄物等のうち生分解性の有機物成分」 埋立処理の量	一次 または シナリオ	「各有機物成分」 嫌気性分解原単位																		
		<p>※1 輸送量(または燃料使用量)については、(7-2)に順ずる。</p> <p>【配分のために収集する一次データ収集項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「本体」の生産量 ・「共製品」の生産量 																				
8-3	一次データの収集方法および収集条件	特に規定しない。																				
8-4	シナリオ	特に規定しない。																				
8-5	その他	特に規定しない																				
9	流通段階に適用する項目																					
9-1	データ収集範囲に含まれるプロセス	「出荷品(本体+容器包装)」および「梱包材」の輸送プロセス																				
9-2	データ収集項目	<p>次表に示すデータ項目を収集する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>活動量の項目名</th> <th>活動量の区分</th> <th>活動量に乗じる原単位の項目名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>「出荷品」 輸送量(または燃料使用量)</td> <td>※1</td> <td>「輸送手段」 輸送原単位</td> </tr> <tr> <td>「水」 「燃料」 「電力」 出荷品の輸送、保管プロセスへの投入量</td> <td>二次 または シナリオ</td> <td>「水」 「燃料」 「電力」 製造と供給および使用原単位</td> </tr> <tr> <td>「梱包材」 「出荷品」の輸送、保管プロセスへの投入量</td> <td>二次 または シナリオ</td> <td>「梱包材」 製造原単位</td> </tr> <tr> <td>「梱包材」 「出荷品」の輸送、保管サイトへの輸送量(または燃料使用量)</td> <td>※1</td> <td>「輸送手段」 輸送原単位</td> </tr> <tr> <td>「廃棄物(梱包材等)」 「廃水」 ※2</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※1輸送量(または燃料使用量)については、(7-2)に順ずる。 ※2 廃棄物等および廃水については(8-2)に順ずる。</p>			活動量の項目名	活動量の区分	活動量に乗じる原単位の項目名	「出荷品」 輸送量(または燃料使用量)	※1	「輸送手段」 輸送原単位	「水」 「燃料」 「電力」 出荷品の輸送、保管プロセスへの投入量	二次 または シナリオ	「水」 「燃料」 「電力」 製造と供給および使用原単位	「梱包材」 「出荷品」の輸送、保管プロセスへの投入量	二次 または シナリオ	「梱包材」 製造原単位	「梱包材」 「出荷品」の輸送、保管サイトへの輸送量(または燃料使用量)	※1	「輸送手段」 輸送原単位	「廃棄物(梱包材等)」 「廃水」 ※2		
活動量の項目名	活動量の区分	活動量に乗じる原単位の項目名																				
「出荷品」 輸送量(または燃料使用量)	※1	「輸送手段」 輸送原単位																				
「水」 「燃料」 「電力」 出荷品の輸送、保管プロセスへの投入量	二次 または シナリオ	「水」 「燃料」 「電力」 製造と供給および使用原単位																				
「梱包材」 「出荷品」の輸送、保管プロセスへの投入量	二次 または シナリオ	「梱包材」 製造原単位																				
「梱包材」 「出荷品」の輸送、保管サイトへの輸送量(または燃料使用量)	※1	「輸送手段」 輸送原単位																				
「廃棄物(梱包材等)」 「廃水」 ※2																						
9-3	一次データの収集方法および収集条件	特に規定しない。																				
9-4	シナリオ	特に規定しない。																				
9-5	その他	特に規定しない。																				
10	使用・維持管理段階に適用する項目																					
10-1	データ収集範囲に含まれる	①施工プロセス(仕上げプロセスも含める)																				

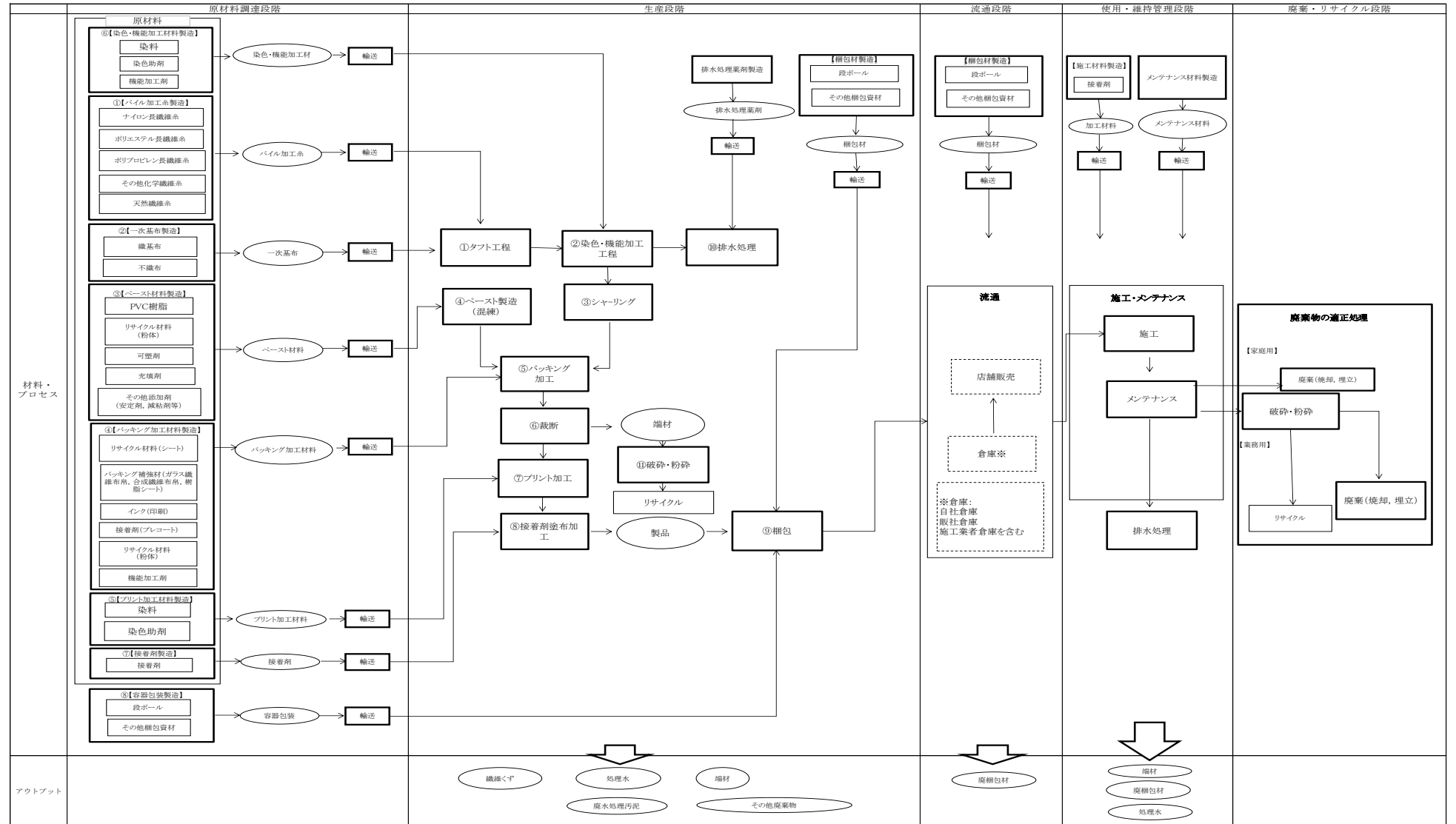
	るプロセス	<p>施工の段階で、接着剤等を使用し本体を貼りつけるプロセス。 仕上げ用の施工用副資材を用いる場合は、その施工用副資材も含める。 ただし、既設の床材の撤去や下地調整プロセスについては含まない。</p> <p>②メンテナンスのプロセス 使用維持の段階でメンテナンス剤を使い各種のメンテナンスを行うプロセス。</p> <p>③「梱包材」の廃棄、リサイクルプロセス</p>																																				
10-2	データ収集項目	<p>次表に示すデータ収集。</p> <p>①施工プロセス</p> <table border="1" data-bbox="568 427 1445 1055"> <thead> <tr> <th>活動量の項目名</th> <th>活動量の区分</th> <th>活動量に乗じる原単位の項目名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>「水」 「燃料」 「電力」 施工プロセスへの投入量</td> <td>一次 または シナリオ</td> <td>「水」 「燃料」 「電力」 製造と供給および使用原単位</td> </tr> <tr> <td>「施工用副資材」 施工プロセスへの投入量</td> <td>一次 または シナリオ</td> <td>「各副資材」 製造原単位</td> </tr> <tr> <td>「施工用副資材」 生産サイトから施工場所までの輸送量(または燃料使用量)</td> <td>※1</td> <td>「輸送手段」 輸送原単位</td> </tr> <tr> <td colspan="3">「廃棄物等(製品の施工によるロス、製品の梱包材、施工用副資材のロス等)」 「廃水」 ※2</td> </tr> </tbody> </table> <p>②メンテナンスのプロセス</p> <table border="1" data-bbox="568 1133 1445 1760"> <thead> <tr> <th>活動量の項目名</th> <th>活動量の区分</th> <th>活動量に乗じる原単位の項目名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>「水」 「燃料」 「電力」 想定使用期間における投入量</td> <td>一次 または シナリオ</td> <td>「水」 「燃料」 「電力」 製造と供給および使用原単位</td> </tr> <tr> <td>「メンテナンス剤」 想定使用期間における投入量</td> <td>一次 または シナリオ</td> <td>「メンテナンス剤」 製造原単位</td> </tr> <tr> <td>「メンテナンス剤」 生産サイトから施工場所までの輸送量(または燃料使用量)</td> <td>※1</td> <td>「輸送手段」 輸送原単位</td> </tr> <tr> <td colspan="3">「廃棄物等(メンテナンス剤)」 「廃水」 ※2</td> </tr> </tbody> </table> <p>③「梱包材」の廃棄、リサイクルプロセス</p> <table border="1" data-bbox="568 1839 1445 2029"> <thead> <tr> <th>活動量の項目名</th> <th>活動量の区分</th> <th>活動量に乗じる原単位の項目名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>「梱包材」 処理方法ごとの排出量</td> <td>一次 または シナリオ</td> <td>「各処理方法」 処理原単位</td> </tr> </tbody> </table>	活動量の項目名	活動量の区分	活動量に乗じる原単位の項目名	「水」 「燃料」 「電力」 施工プロセスへの投入量	一次 または シナリオ	「水」 「燃料」 「電力」 製造と供給および使用原単位	「施工用副資材」 施工プロセスへの投入量	一次 または シナリオ	「各副資材」 製造原単位	「施工用副資材」 生産サイトから施工場所までの輸送量(または燃料使用量)	※1	「輸送手段」 輸送原単位	「廃棄物等(製品の施工によるロス、製品の梱包材、施工用副資材のロス等)」 「廃水」 ※2			活動量の項目名	活動量の区分	活動量に乗じる原単位の項目名	「水」 「燃料」 「電力」 想定使用期間における投入量	一次 または シナリオ	「水」 「燃料」 「電力」 製造と供給および使用原単位	「メンテナンス剤」 想定使用期間における投入量	一次 または シナリオ	「メンテナンス剤」 製造原単位	「メンテナンス剤」 生産サイトから施工場所までの輸送量(または燃料使用量)	※1	「輸送手段」 輸送原単位	「廃棄物等(メンテナンス剤)」 「廃水」 ※2			活動量の項目名	活動量の区分	活動量に乗じる原単位の項目名	「梱包材」 処理方法ごとの排出量	一次 または シナリオ	「各処理方法」 処理原単位
活動量の項目名	活動量の区分	活動量に乗じる原単位の項目名																																				
「水」 「燃料」 「電力」 施工プロセスへの投入量	一次 または シナリオ	「水」 「燃料」 「電力」 製造と供給および使用原単位																																				
「施工用副資材」 施工プロセスへの投入量	一次 または シナリオ	「各副資材」 製造原単位																																				
「施工用副資材」 生産サイトから施工場所までの輸送量(または燃料使用量)	※1	「輸送手段」 輸送原単位																																				
「廃棄物等(製品の施工によるロス、製品の梱包材、施工用副資材のロス等)」 「廃水」 ※2																																						
活動量の項目名	活動量の区分	活動量に乗じる原単位の項目名																																				
「水」 「燃料」 「電力」 想定使用期間における投入量	一次 または シナリオ	「水」 「燃料」 「電力」 製造と供給および使用原単位																																				
「メンテナンス剤」 想定使用期間における投入量	一次 または シナリオ	「メンテナンス剤」 製造原単位																																				
「メンテナンス剤」 生産サイトから施工場所までの輸送量(または燃料使用量)	※1	「輸送手段」 輸送原単位																																				
「廃棄物等(メンテナンス剤)」 「廃水」 ※2																																						
活動量の項目名	活動量の区分	活動量に乗じる原単位の項目名																																				
「梱包材」 処理方法ごとの排出量	一次 または シナリオ	「各処理方法」 処理原単位																																				

		<table border="1"> <tr> <td>「梱包材」 各処理施設への輸送量(または燃料使用量)</td> <td>※1</td> <td>「各輸送手段」 原単位</td> </tr> <tr> <td>「梱包材」のうち化石資源由来成分 焼却処理の量</td> <td>一次 または シナリオ</td> <td>「各化石資源由来成分」 焼却原単位</td> </tr> </table> <p>※1 輸送量(または燃料使用量)については、(7-2)に順ずる。 ※2 廃棄物等および廃水については、(8-2)に順ずる。</p>	「梱包材」 各処理施設への輸送量(または燃料使用量)	※1	「各輸送手段」 原単位	「梱包材」のうち化石資源由来成分 焼却処理の量	一次 または シナリオ	「各化石資源由来成分」 焼却原単位															
「梱包材」 各処理施設への輸送量(または燃料使用量)	※1	「各輸送手段」 原単位																					
「梱包材」のうち化石資源由来成分 焼却処理の量	一次 または シナリオ	「各化石資源由来成分」 焼却原単位																					
10-3	一次データの収集方法および収集条件	特に規定しない。																					
10-4	シナリオ	<p>① 施工シナリオ カーペットの種類別、用途別にシナリオを定める。 詳細は附属書 C(規定)を参照すること。</p> <p>② メンテナンスシナリオ カーペットの種類別、用途別にメンテナシナリオを定める。 詳細は附属書 D(規定)を参照すること。</p> <p>家庭用の製品に施工方法またはメンテナンス方法が記載されている場合はその内容に従う。</p>																					
10-5	その他	施工時のロス率については「原材料調達」「生産」「流通」段階まで遡って考慮すること。																					
11	廃棄・リサイクル段階に適用する項目																						
11-1	データ収集範囲に含まれるプロセス	<p>①「使用済み製品」の廃棄・リサイクルプロセス</p> <p>②「廃容器包装」の廃棄・リサイクルプロセス</p>																					
11-2	データ収集項目	<p>次表に示すデータ項目を収集する。</p> <p>①「使用済み製品」の廃棄・リサイクルプロセス</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>活動量の項目名</th> <th>活動量の区分</th> <th>活動量に乗じる原単位の項目名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>「使用済み製品」 処理方法ごとの排出量</td> <td>一次 または シナリオ</td> <td>「各処理方法」 処理原単位</td> </tr> <tr> <td>「使用済み製品」 各処理施設への輸送量(または燃料使用量)</td> <td>※1</td> <td>「各輸送手段」 原単位</td> </tr> <tr> <td>「使用済み製品のうち化石資源由来成分」 焼却処理の量</td> <td>一次 または シナリオ</td> <td>「各化石資源由来成分」 焼却原単位</td> </tr> <tr> <td>「使用済み製品のうち生分解性の有機物成分」 埋立処理の量</td> <td>一次 または シナリオ</td> <td>「各有機物成分」 嫌気性分解原単位</td> </tr> </tbody> </table> <p>②「廃容器包装」の廃棄・リサイクルプロセス</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>活動量の項目名</th> <th>活動量の区分</th> <th>活動量に乗じる原単位の項目名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>「廃容器包装」 処理方法ごとの排出量</td> <td>一次 または シナリオ</td> <td>「各処理方法」 処理原単位</td> </tr> </tbody> </table>	活動量の項目名	活動量の区分	活動量に乗じる原単位の項目名	「使用済み製品」 処理方法ごとの排出量	一次 または シナリオ	「各処理方法」 処理原単位	「使用済み製品」 各処理施設への輸送量(または燃料使用量)	※1	「各輸送手段」 原単位	「使用済み製品のうち化石資源由来成分」 焼却処理の量	一次 または シナリオ	「各化石資源由来成分」 焼却原単位	「使用済み製品のうち生分解性の有機物成分」 埋立処理の量	一次 または シナリオ	「各有機物成分」 嫌気性分解原単位	活動量の項目名	活動量の区分	活動量に乗じる原単位の項目名	「廃容器包装」 処理方法ごとの排出量	一次 または シナリオ	「各処理方法」 処理原単位
活動量の項目名	活動量の区分	活動量に乗じる原単位の項目名																					
「使用済み製品」 処理方法ごとの排出量	一次 または シナリオ	「各処理方法」 処理原単位																					
「使用済み製品」 各処理施設への輸送量(または燃料使用量)	※1	「各輸送手段」 原単位																					
「使用済み製品のうち化石資源由来成分」 焼却処理の量	一次 または シナリオ	「各化石資源由来成分」 焼却原単位																					
「使用済み製品のうち生分解性の有機物成分」 埋立処理の量	一次 または シナリオ	「各有機物成分」 嫌気性分解原単位																					
活動量の項目名	活動量の区分	活動量に乗じる原単位の項目名																					
「廃容器包装」 処理方法ごとの排出量	一次 または シナリオ	「各処理方法」 処理原単位																					

		<table border="1"> <tr> <td>「廃容器包装」 各処理施設への輸送量(または燃料使用量)</td> <td>※1</td> <td>「各輸送手段」 原単位</td> </tr> <tr> <td>「廃容器包装」のうち化石資源由来成分 焼却処理の量</td> <td>一次 または シナリオ</td> <td>「各化石資源由来成分」 焼却原単位</td> </tr> </table> <p>リサイクル段階において存在しないプロセスについては検討しなくても良い。 ※1 輸送量(または燃料使用量)については(7-2)に順ずる。</p>	「廃容器包装」 各処理施設への輸送量(または燃料使用量)	※1	「各輸送手段」 原単位	「廃容器包装」のうち化石資源由来成分 焼却処理の量	一次 または シナリオ	「各化石資源由来成分」 焼却原単位
「廃容器包装」 各処理施設への輸送量(または燃料使用量)	※1	「各輸送手段」 原単位						
「廃容器包装」のうち化石資源由来成分 焼却処理の量	一次 または シナリオ	「各化石資源由来成分」 焼却原単位						
11-3	一次データの収集方法および収集条件	特に規定しない。						
11-4	シナリオ	<p>【廃棄物の処理方法に関する規定】 廃棄物等の処理方法割合について一次データが収集できない場合は、次のシナリオを使用してもよい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タイルカーペット:80%廃棄(破碎・粉碎→埋立)、20%(破碎・粉碎→リサイクル)^{注1} ・タフテッドカーペット、織じゅうたん、ニードルパンチカーペット→100%焼却 <p>注1:タイルカーペットの処理割合は、次のデータにより設定した。 リサイクル比率=15千t/(25,530千m²×60%×5kg/m²)≒20% タイルカーペット年間生産数量25,530千m²(IDEカーペット年鑑2,010年号より) 生産数量に対するリニューアル比率60% タイルカーペット平均重量5kg/m² (H23年8月4日カーペットCFP-WGメモより。会員企業13社の平均値) リサイクル量15千t/年(2,011年度リサイクル業者実績値ヒアリングより)</p>						
11-5	その他	特に規定しない。						
12	CFP 宣言方法							
12-1	追加情報	<p>【必須表示内容の規定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・製品分類(タイルカーペット、タフテッドカーペット、織りじゅうたん、ニードルパンチカーペット) ・表示単位(m²) ・想定使用期間 ・機能(業務用、家庭用) 						
12-2	登録情報	<p>【必須表示内容の規定】 使用・維持管理段階の算定方法(シナリオ)</p> <p>【可能表示内容の規定】 リサイクル材使用比率(%) ただし、比率の数値については検証の対象とする。</p>						
12-3	その他	マーク上に数値表示をおこなう場合は、1m ² あたりで、想定使用期間あたりの排出量を表示する。						

附属書 A : ライフサイクルフロー図 (規定)

A-1 タイルカーペット システムフロー図

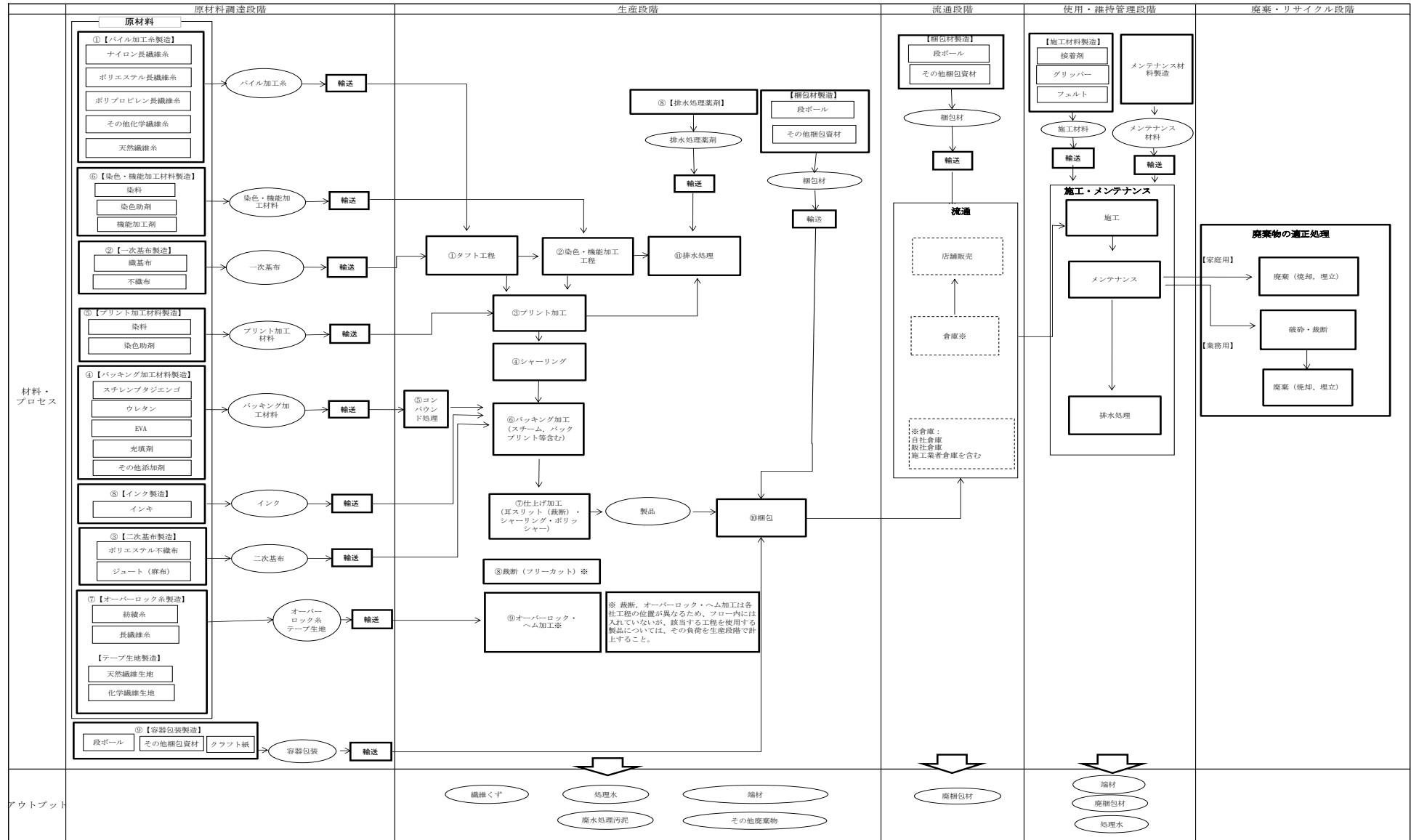


【凡例】

- 算定対象のプロセス (Calculation target process)
- 算定の対象外 (Not calculation target)
- 算定の対象物 (Calculation target object)

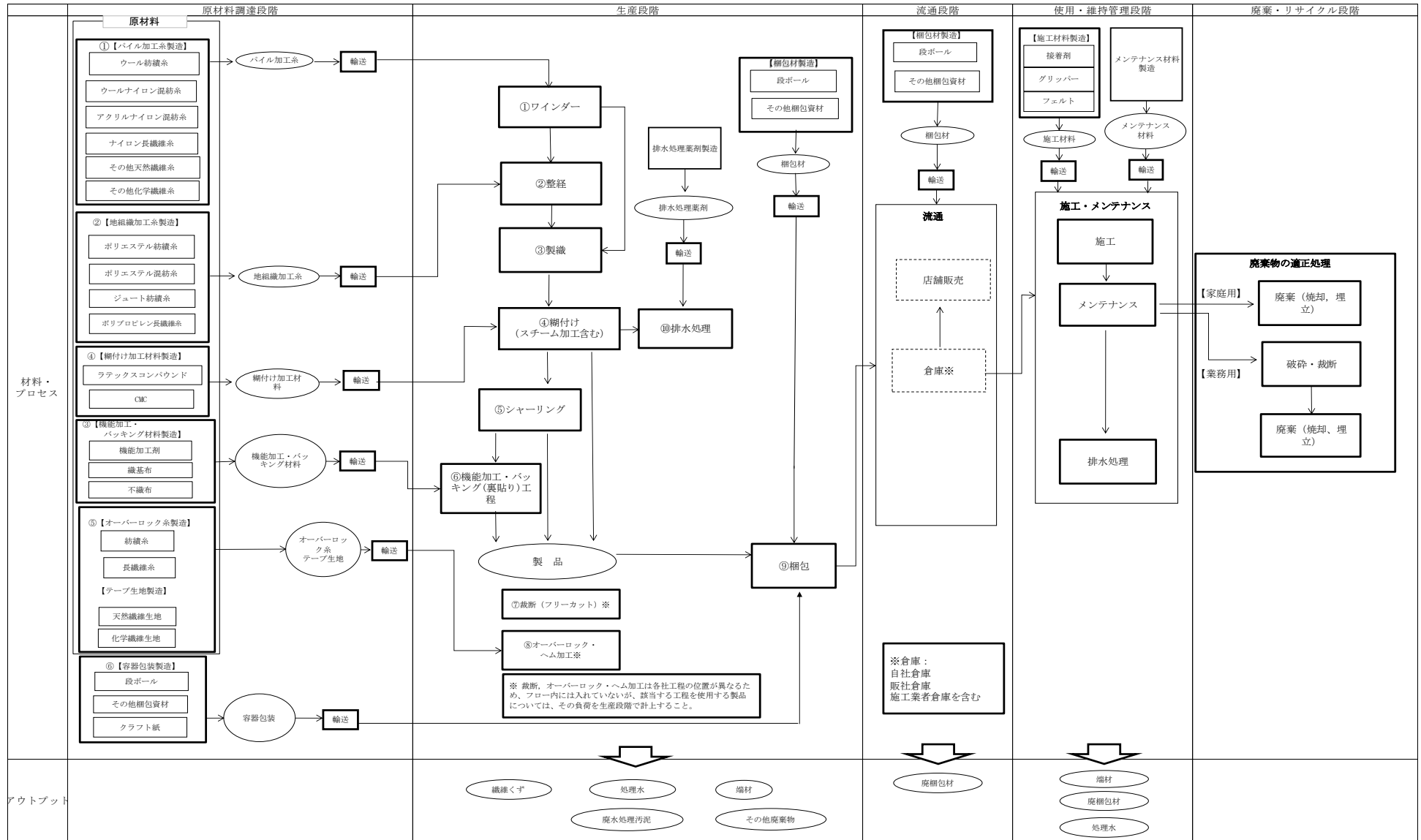
※各材料・プロセス間、プロセス・プロセス間で輸送がある場合には、輸送負荷を加味すること。
 ※全てのエネルギーおよび水の供給と使用に係るプロセスはフロー図から省略
 ※このフロー図はタイルカーペットのライフサイクルの概要を示した。特定の製品のCFP算定にあたっては、不要なプロセスを省略する等、実際に利用しているプロセスに沿って算定すること

A-2 タフテッドカーペット システムフロー図



※各材料-プロセス間、プロセス-プロセス間で輸送がある場合には、輸送負荷を加味すること。
 ※全てのエネルギーおよび水の供給と使用に係るプロセスはフロー図から省略
 ※このフロー図はタフテッドカーペットのライフサイクルの概要を示した。特定の製品のGFP算定にあたっては、不要なプロセスを省略する等、実際に利用しているプロセスに沿って算定すること

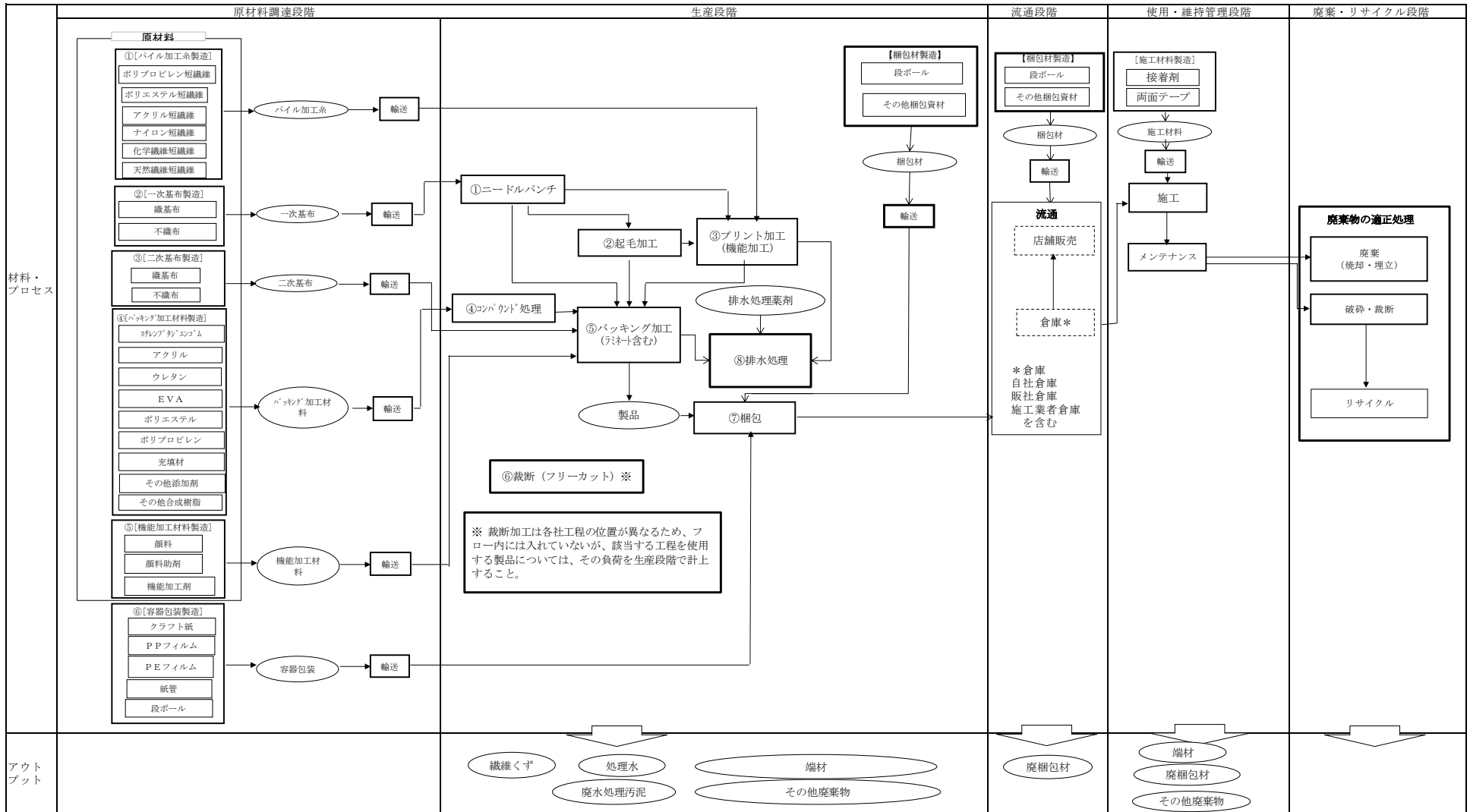
A-3 織りじゅうたん システムフロー図



【凡例】 算定対象のプロセス 算定の対象外
 算定の対象物

※各材料-プロセス間、プロセス-プロセス間で輸送がある場合には、輸送負荷を加味すること。
 ※全てのエネルギーおよび水の供給と使用に係るプロセスはフロー図から省略
 ※このフロー図は織りじゅうたんのライフサイクルの概要を示した。特定の製品のCFP算定にあたっては、不要なプロセスを省略する等、実際に利用しているプロセスに沿って算定すること

A-4 ニードルパンチカーペット システムフロー図



【凡例】 算定対象のプロセス (算定の対象外) 算定の対象物

※各材料-プロセス間, プロセス-プロセス間で輸送がある場合には, 輸送負荷を加味すること。
 ※全てのエネルギーおよび水の供給と使用に係るプロセスはフロー図から省略
 ※このフロー図はニードルパンチカーペットのライフサイクルの概要を示した。特定の製品のCFP算定にあたっては, 不要なプロセスを省略する等, 実際に利用しているプロセスに沿って算定すること

附属書 B : 輸送シナリオ (規定)

一次データが得られない場合の輸送シナリオ次に示す。

B1. 輸送距離

<国内輸送の場合>

- ・市内もしくは近隣市間に閉じることが確実な輸送の場合:50 km
- ・県内に閉じることが確実な輸送の場合:100 km
- ・県間輸送の可能性がある場合:500 km
- ・特定地域に限定されない場合:1,000 km

<海外での国内輸送の場合>

- ・生産サイトから港までの距離:500 km

<国際輸送の場合>

- ・港→港 : 港間の航行距離

B2. 各ライフサイクル段階での輸送シナリオ

ライフサイクル段階	輸送シナリオ				
	設定	輸送手段	積載率	輸送距離	
原材料調達段階					
原材料調達輸送	国内輸送	市内もしくは近隣市間の輸送	10 トントラック	62 %	50 km
		県内輸送	10 トントラック	62 %	100 km
		県間輸送	10 トントラック	62 %	500 km
	国際輸送	国外生産サイトから国外港まで	10 トントラック	62 %	500 km
		国外港から国内港まで	<4,000 TEU	-	航行距離
		国内港から国内生産サイトまで	10 トントラック	62 %	500 km
生産段階					
サイト間輸送	国内輸送	市内もしくは近隣市間の輸送	10 トントラック	62 %	50 km
		県内輸送	10 トントラック	62 %	100 km
		県間輸送	10 トントラック	62 %	500 km
	国際輸送	国外生産サイトから国外港まで	10 トントラック	62 %	500 km
		国外港から国内港まで	<4,000 TEU	-	航行距離
		国内港から国内生産サイトまで	10 トントラック	62 %	500 km
廃棄物輸送	国内輸送	県内輸送	4 トントラック	50 %	100 km
		県間輸送	4 トントラック	50 %	500 km
流通段階					
製造工場～顧客への輸送	国内輸送	特定地域に限定されない輸送	10 トントラック	50 %	1,000 km
梱包材調達輸送	国内輸送	市内もしくは近隣市間の輸送	4 トントラック	62 %	50 km
		県内輸送	4 トントラック	62 %	100 km
		県間輸送	10 トントラック	62 %	500 km
	国際輸送	国外生産サイトから国外港まで	10 トントラック	62 %	500 km
		国外港から国内港まで	<4,000 TEU	-	航行距離
		国内港から流通倉庫まで	10 トントラック	62 %	500 km
廃棄物輸送	国内輸送	県内輸送	4 トントラック	50 %	100 km
使用・維持管理段階					
施工材料およびメンテナンス剤の輸送	国内輸送	特定地域に限定されない輸送	4 トントラック	50 %	1,000 km
		国際輸送	国外生産サイトから国外港まで	10 トントラック	50 %
	国際輸送	国外港から国内港までの輸送	<4,000 TEU	-	航行距離

		国内港から施工場所までの輸送	4 トントラック	50 %	1,000 km
廃棄物輸送	国内輸送	県内輸送	2 トントラック	50 %	100 km
	国内輸送	県間輸送	10 トントラック	50 %	500 km
廃棄・リサイクル段階					
廃棄物の排出事業者から 中間処理場までの輸送	国内輸送	県内輸送	2 トントラック	50 %	100 km
廃棄物の中間処理場から 最終処分場までの輸送	国内輸送	県間輸送	10 トントラック	50 %	500 km
リサイクル材の輸送	国内輸送	特定地域に限定されない輸送	2 トントラック	50 %	1,000 k m

附属書 C： 施工に伴う CO₂ 算定シナリオ （規定）

【1】カーペットの種類別、用途別の施工シナリオ一覧表

カーペットの種類別、用途別施工シナリオを以下に示す。施工方法については、日本カーペット工業組合 会員企業からのヒアリングに基づき決定した。(H23 年 5 月 11 日 第 15 回カーペット CFP-WG 会議メモより。会員企業 13 社の平均値による)

		業務用	家庭用
		施工シナリオ	施工シナリオ
タイルカーペット (ロス率 0.5 %)		接着(タイル)	接着(タイル)
タフテッドカーペット	ロール (ロス率 5 %)	グリッパー	置き敷き
	ピース・ラグ・折りたたみ等 (ロス率 0 %)	置き敷き	置き敷き
	織じゅうたん (ロス率 5 %)	グリッパー	置き敷き
ニードルパンチカーペット (ロス率 2%)		両面テープ	接着

施工シナリオ(まとめ)

施工方法	接着剤 (kg/m ²)	木材 (m ³ /m ²)	釘 (kg/m ²)	フェルト (kg/m ²)	離形紙 (kg/m ²)	基材(スフ布) (kg/m ²)
接着(タイル)	0.0920	-	-	-	-	-
接着(タイル以外)	0.350	-	-	-	-	-
グリッパー	-	0.000263	0.00848	0.550	-	-
両面テープ	0.0128	-	-	-	0.0146	0.0149
置き敷き	-	-	-	-	-	-

【2】各シナリオの考え方

C-1：接着(タイル)

下地が吸水性か非吸水性かによって接着剤の使用量が違う点を反映し、次の計算を行った。

	接着剤使用量 (kg/m ²)	割合 (%)	平均接着剤使用量 (kg/m ²)
吸水性下地	0.1	80	0.092
非吸水性下地	0.06	20	

C-2：グリッパー

まず、グリッパー 1 m あたりの部材使用量を次の計算より求めた。

使用部材	使用量(体積)					
木材	0.000175	m ³ /m	(7 mm×25 mm×1 m)			
使用部材	使用本数		1 本あたりの重量		使用重量	
釘(11 mm)	46	本/m	0.065	g/本	2.99	g/m
釘(24 mm)	7	本/m	0.38	g/本	2.66	g/m

1 m³あたりでは、1.5 mのグリッパーを使用する。また、この際、1 m²のフェルト(重量:550 g/m²)を使用することから、グリッパー施工1 m³あたりの使用量は次の通りである。

使用部材	使用量
木材	0.000263 m ³ /m ²
釘	0.00848 kg/m ²
フェルト	0.55 kg/m ²

C-3 : 接着

タイル以外のカーペットに対する接着施工負荷を以下にまとめる。

接着剤使用量 (kg/m ²)
0.35

C-4 : 置き敷き

施工に係る環境負荷は発生しないものとする。

C-5 : 両面テープ

両面テープによる施工負荷を以下にまとめる。両面テープは、幅:40 mm、厚さ:0.41 mm、重量:20 g/m(離形紙含む)のものを使用するとした。また、両面テープの使用量は1 m²あたり1.5 mとし、離形紙:基材:粘着剤=2:1:1の比で計算を行った。

部材	使用量(kg/m ²)
離形紙	0.0146
基材(スフ布)	0.0149
粘着材	0.0128

附属書 D： メンテナンスに伴う CO₂ 算定シナリオ（規定）

【1】カーペットの種類別、用途別の想定使用年数および適用シナリオ一覧表

カーペットの種類別、用途別メンテナンスシナリオを以下に示す。用途および想定使用年数については、日本カーペット工業組合 会員企業からのヒアリングに基づきまとめた。(H23年8月4日 第18回カーペットCFP-WG会議メモより。会員企業13社の平均値による)

		業務用		家庭用	
		想定使用年数 (年)	メンテナンス シナリオ	想定使用年数 (年)	メンテナンス シナリオ
タイルカーペット		7	事務所等 (IICRC)	10	家庭(掃除機)
タフテッド カーペット	ロール	7	ホテル等 (IICRC)	10	家庭(掃除機)
	ピース・ラグ、折りたたみ等	4	ホテル等 (IICRC)	4	家庭(掃除機)
	ピース・ラグ、折りたたみ等 2 畳以下			4	家庭(洗濯)
織じゅうたん		7	ホテル等 (IICRC)	12	家庭(掃除機)
ニードルパンチ カーペット		5(日間)	展示場等	5	家庭(掃除機)

メンテナンスシナリオ(まとめ)

メンテナンス場所・方法	電力	洗剤 (非イオン界面活性剤)	上水道	下水処理
	(kWh/m ² /年)	(kg/年)	(L/m ² /年)	(L/m ² /年)
事務所等	3.87	0.038	2.85	1.58
ホテル等	5.04	0.060	4.20	2.10
展示場等	-	-	-	-
家庭(掃除機)	0.32	-	-	-
家庭(洗濯)	0.016	0.008	0.016	0.016

【2】各シナリオの考え方

D-1 事務所等

メンテナンスの方法および回数は、IICRC(The Institute of Inspection、Cleaning and Restoration Certification)のメンテナンスシナリオおよびビルメンテナンス協会からのヒアリングに基づき設定した。

	方法	清掃 頻度	装置 消費 電力 (W)	処理 能力 (m ² /hr)	年間 消費 電力 (Wh/m ² / 年)	洗剤	洗剤 塗布量 (g/m ²)	年間洗 剤負荷 (kg/m ² / 年)	年間 上水 負荷 (L/m ² / 年)	年間汚 水処理 負荷 (L/m ² / 年)	備考
①	バキューミング	2.3 回/日	1,200	200	3,519	無し					実働 255 日/年
②	ドライクリーニング (サーフェス 技法)	0.5 回/月			304			0.015	0.600		
	(内訳) 起毛		935	50	112	無し					
	バキューミング		1,200	200	36	無し					
	プレコン					有り	50	0.006	0.300		前処理 剤(濃度 2%で計 算)
	ポリッシャー・ 乾燥		2,000	100	120	有り	50	0.009	0.300		洗浄剤 (濃度 3%で計 算)
	バキューミング		1,200	200	36	無し					
③	エクストラクショ ン	1.5 回/年			45			0.023	2.250	1.575	
	(内訳) 起毛		935	50	28	無し					
	バキューミング		1,200	200	9	無し					
	洗浄機		1,100	200	8.3	有り	1,500	0.023	2.250	1.575	洗剤濃 度:1%、 汚水回 収率: 70%で 計算

以上の数値から、事務所等のメンテナンスに係るエネルギー使用量、材料の投入量を次の通り算出した。

項目	使用量
電力	3.87 kWh/m ² /年
洗剤(非イオン界面活性剤)	0.038 kg/年
上水道	2.85 L/m ² /年
下水処理	1.58 L/m ² /年

D-2 ホテル等

メンテナンスの方法および回数は、IICRC(The Institute of Inspection、Cleaning and Restoration Certification)のメンテナンスシナリオおよびビルメンテナンス協会からのヒアリングに基づき設定した。

	方法	清掃頻度	消費電力 (W)	処理能力 (m ² /hr)	年間消費電力 (Wh/m ² /年)	洗剤	洗剤塗布量 (g/m ²)	年間洗剤負荷 (kg/m ² /年)	年間上水負荷 (L/m ² /年)	年間汚水処理負荷 (L/m ² /年)	備考
①	バキューミング	2 回/日	1,200	200	4,380	無し					実働 365 日/年
②	ドライクリーニング (サーフェース技法)	1 回/月			608			0.03	1.2		
	(内訳) 起毛		935	50	224	無し					
	バキューミング		1,200	200	72	無し					
	プレコン					有り	50	0.012	0.600		前処理剤(濃度 2%で計算)
	ポリッシャー・乾燥		2,000	100	240	有り	50	0.018	0.600		洗浄剤(濃度 3%で計算)
	バキューミング		1,200	200	72	無し					
③	エクストラクション	2 回/年			50			0.030	3.000	2.100	
	(内訳) 起毛		935	100	18.7	無し					
	バキューミング		1,000	100	20	無し					
	洗浄機		1,100	300	7.3	有り	1,500	0.030	3.000	2.100	洗剤濃度:1%、汚水回収率:70%で計算

以上の数値より、ホテル等のメンテナンスに係るエネルギー使用量、材料の投入量を次の通り算出した。

項目	使用量
電力	5.04 kWh/m ² /年
洗剤(非イオン界面活性剤)	0.060 kg/年
上水道	4.20 L/m ² /年
下水処理	2.100 L/m ² /年

D-1 事務所等、D-2 ホテル等に使用するメンテナンス機器は以下機種を代表として選定した。

・バキューミング: (株)リンレイ「スイングバック 18」

- ・起毛:蔵王産業(株)「スーパーパイルブラシ」
- ・ポリッシャー:アマノ(株)「CMP160L」
- ・乾燥:(株)シーエスコポーレーション「キャリーブロー CB550K」
- ・洗浄機:蔵王産業(株)「スプレーバルチャーR48SV」

D-3 展示場等

展示会場等における清掃頻度は0回(想定使用年数:5日間)とし、メンテナンスに伴う環境負荷はなしとする。

D-4 家庭(掃除機)

家庭における掃除の頻度は、2回/週と設定した。また掃除機の消費電力は、市販されている掃除機の消費電力平均値から設定し、処理能力は、事務所清掃と同じとした。

	方法	清掃頻度	消費電力 (W)	処理能力 (m ² /hr)	年間消費電力 (Wh/m ² /年)	洗剤	備考
①	バキューミング	2回/週	619	200	323	無し	

以上の結果から、家庭(掃除機)に係るエネルギー使用量を次の通り算出した。

項目	使用量
電力	0.32 kWh/m ² /年

設定掃除機一覧

メーカー	タイプ		型番
パナソニック	サイクロン式	遠心分離機タイプ	MC-SS310GX
パナソニック	サイクロン式	強力パワータイプ	MC-SA21G
パナソニック	サイクロン式	コンパクトタイプ	MC-SK12G
パナソニック	サイクロン式	空間清浄タイプ	MC-SKD410
パナソニック	紙パック式	強力パワータイプ	MC-PA310GX
パナソニック	紙パック式	軽量タイプ	MC-PR1
パナソニック	紙パック式	コンパクトタイプ	MC-PK12G
日立	サイクロン式	2段ブーストサイクロン	CV-SU7000
日立	サイクロン式	ごみダッシュサイクロン	CV-SU20
日立	紙パック式	かるパック	CV-PU300
日立	紙パック式	スタンダード	CV-PR9
シャープ	サイクロン式	プラズマクラスター搭載遠心分離機タイプ	EC-WX300
シャープ	サイクロン式	遠心分離機タイプ	EC-AP12
シャープ	紙パック式	タービンヘッドタイプ	EC-KP7T
シャープ	紙パック式	床用吸込ロタイプ	EC-KP7F
三菱電機	サイクロン式	フィルターレス	TC-ZXA20P
三菱電機	紙パック式	自走式パワーブラシ	TC-BXA15P
三菱電機	サイクロン式	フィルター	TC-EXA8J
三菱電機	紙パック式	ラク走パワーブラシ	TC-FXA8P
東芝		パワーイオンヘッド	VC-CG511X
東芝		軽量コンパクトパワーヘッド	VC-C11
【合計】			21種類

D-5 家庭(洗濯)

2 畳のカーペットを洗濯すると想定し、1 畳=3.1 m²で単位面積あたりの負荷に換算した。洗濯頻度は、年 1 回と設定した。また、洗濯機の消費電力、洗剤使用量、水使用量は、市販されている洗濯機のカタログより設定した。

	方法	頻度	電力消費 量 (kwh/回)	年間消費 電力 (kwh/m ²)	洗剤 (kg/回)	年間洗剤 負荷 (kg/m ²)	水使用量 (m ³ /回)	年間上水 負荷 (L/m ²)	年間汚水 処理負荷 (L/m ²)
①	洗濯	1 回/年	0.101	0.016	0.05	0.008	0.1010	0.016	0.016

以上の数値より、家庭(洗濯)のメンテナンスに係るエネルギー使用量、材料の投入量を次の通り算出した。

項目	使用量
電力	0.016 kWh/m ² /年
洗剤(非イオン界面活性剤)	0.008 kg/年
上水道	0.016 L/m ² /年
下水処理	0.016 L/m ² /年

設定洗濯機一覧

メーカー	タイプ	型番
日立	タテ型洗濯乾燥機	BW-D7MV
日立	全自動洗濯機	BW-7MV
日立	全自動洗濯機	NW-7MY
東芝	タテ型洗濯乾燥機	AW-70VK
東芝	全自動洗濯機	AW-70DK
東芝	全自動洗濯機	AW-70GK
パナソニック	タテ型洗濯乾燥機	NA-FR70S5
パナソニック	全自動洗濯機	NA-FS70H3
パナソニック	全自動洗濯機	NA-F70PB3
シャープ	タテ型洗濯乾燥機	ES-TX71
シャープ	タテ型洗濯乾燥機	ES-TX70
シャープ	全自動洗濯機	ES-GE70L
【合計】		12 種類

【CFP-PCR 変更履歴】

CFP-PCR 番号	公表日	内容
PA-DE-01	2012 年 10 月 9 日	認定
	2017 年 10 月 9 日	更新